

# 【自己改革取組宣言】

## これまで、これからも、地域とともに JA北蒲みなみは『総合事業』を展開します。

- 「農業者の所得増大」、「農業生産の拡大」、「地域の活性化」に取り組みます。
- このため、協同組合の原点に立ち、組合員の皆さんとの話し合いを深めます。
- そして、「総合事業だからこそ」の強みを活かし、地域にとってなくてはならない組織であり続けます。

協同組合とは、組合員の一人ひとりが力をあわせ、みんなの願いをかなえていく組織です。

JAは、農業者(正組合員)が組織する協同組合です。農業者の営農と生活を支えるため、さまざまな事業を総合的に展開しています。農業者の所得向上や地域農業の振興を目的に、農産物の販売や、信用事業(JAバンク)、共済事業(JA共済)などのさまざまな事業を、営農相談やくらしの相談活動を通じて、総合的に結びつけ、地域農業の振興や地域づくりに取り組んでいます。

農業者以外の方でも、JA各事業をご利用いただいている方を、“地域農業の応援団”として准組合員にご加入いただいております。

信用事業や共済事業などを含めた総合事業全体の収支の中で実施しているからこそ、JAの経営基盤が安定し、営農指導員の配置や多額の農業施設投資が可能です。いわば、農業者(正組合員)と地域農業の応援団(准組合員)で、JAの総合事業を通じて地域の農業と暮らし、みんなの願いをかなえる取り組みを支えています。

JA北蒲みなみは、これからも「農業」を中心に、地域農業の発展と安心して暮らせる地域社会の実現に向け、引き続き取り組んでまいります。

多様な地域農業の担い手を育成・支援する営農企画力と、農産物の安定・有利販売を実現する販売企画力を発揮し、安定的・継続的に発展できる地域農業生産構造を目指してまいります。

食と農に関する活動およびくらしの活動を通じて、JAが地域の消費者と農業者の懸け橋となり、地域に開かれた「なくてはならない存在」として、事業に取り組んでまいります。

「協同の力」によりコスト優位性を最大限に発揮するとともに、利用者視点に立った多様な事業展開により、総合的な生活サポートを提供してまいります。

なお、具体的な取り組みにつきましては、第7次中期経営計画および自己改革工程表をご覧ください。